

# 茅の輪くぐりの神事

## 大祓いについて

祭日 六月三十日 午後二時

(茅の輪と人形納所は六月二十三日より七月一日まで設けます)



茅の輪くぐりの神事

氷川神社では六月三十日午後二時より大祓いの神事を執り行います。

大祓いと申しますのは、半年間の罪穢を祓い清める大きな祓い、又は国中の罪穢を祓い清める大きな祓いと云うことで、私達の生活している世の中の穢を祓い清め、人々が健康で明るく、正しい生活を営むことができるように、神様のご加護をいただくための神事です。

日本の国では、昔から六月と十二月の晦日に大祓いの式が行われて半年間の罪穢を祓い、新しい生活への無事息災を祈る慣わしになっていますが、特に六月の大祓いは、夏越の祓い、水無月の祓いとも云われ、これから暑い夏を迎えるにあたって種々の災厄を除くための神事とし

て広く行われてまいりました。

氷川神社では氏子の各御家庭に人形をお頒ちいたします。この人形に氏名を書き、息を吹きかけ、身を撫でて罪穢をこの人形に移し、氷川神社へ納め無病息災をお祈りいただきます。

この日は神橋の中央に青い茅萱で作った茅の輪を設けますが、参詣者はこの茅の輪をくぐって祓いをいたし、身を清めます。(六月二十三日より七月一日迄茅の輪と人形納所を設けます。)

この茅の輪をくぐりますと、この年は疫病に罹らないと云われ、諸事災難除けの神事として広く知られ、一名、茅の輪くぐりの神事とも云われております。

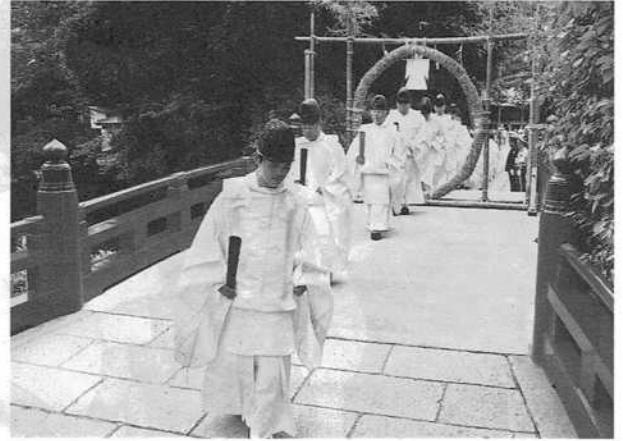
### 武蔵一宮氷川神社

さいたま市大宮区高鼻町一四〇七  
〇四八(六四二)〇一三七

# 茅の輪くぐり神事風景



大祓い齋場。大祓いの詞を奏し罪穢を清めます



神職は茅の輪をくぐり齋場に向かいます



祓えつ物を切り裂き罪穢を祓い清めます



切麻をまき人形で身を撫でて罪穢を人形に移します

(人形は神社にも用意してあります)



人形  
ひとがた



人形 納め所